

令和8年度 都市政策部 組織目標

組織名	都市政策部	部長	高島 康憲
組織の目的・方向性	都市と田園が調和・共生する本市の特徴を活かしながら、8区それぞれが持つ魅力ある地域を道路・公共交通などのネットワークでつなぐことで、持続可能な多核連携都市を目指します。 駅・港・空港・道路を備える本市の強みを活かしながら、二次交通を連携させた回遊性向上に取り組み、都市の活力と魅力を高めていくことで、日本海拠点都市として持続的に発展するまちを目指します。		
(参考) 関連する総合計画における政策指標※	・居住誘導区域に住む人口割合 ・自家用車に頼らなくても移動しやすいまちと思う市民の割合 ・都心エリアの平均地価変動率 ・港、空港、新潟駅、高速道路などの広域交通インフラの利便性が以前と比べて向上していると思う市民の割合		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

都市政策部 組織目標

重点目標

都市政策部では、新潟市総合計画2030（まちづくり・インフラ）に基づき、多核連携のまちづくりの推進、交通ネットワークの強化・充実、都心部の再開発促進、拠点機能の充実・強化、公共工事の品質確保などに総力を結集して取り組みます。

この方針のもと、今年度は、次の5つの目標に重点的に取り組みます。

- 1 市民の生命・財産を守る観点から、土地に係る有効な対策や規制の実施を行うとともに、多様な個性や魅力あふれる地域の集合体であるという本市の強みを生かし、コンパクトなまちづくりに取り組みます。
- 2 都心エリアにおいて良好な景観、公共空間の利活用など、官民一体となって魅力と価値の向上に取り組むとともに、都心部の再開発に合わせた、防災機能強化、賑わい創出など拠点性向上を推進します
- 3 都心アクセスの強化を図るとともに、広域交通拠点と二次交通を連携させた主要エリア間のアクセス強化と回遊性の向上を図ります。
また、利便性と持続可能性を併せ持つ移動手段の構築に取り組みます。
- 4 新潟駅・新潟港・新潟空港における拠点機能の充実・強化により、賑わいの創出、利用促進による活性化を図ります。
- 5 公共工事の品質確保および受発注者間の連携体制を整備し、将来世代を見据えた持続可能なまちづくりを着実に推進します。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

取組結果	重点目標の達成状況	目標数		達成数	
今後の方向性					